救護せず立ち去る トラック運転手

道路わきの自転車や歩行者とは、大きく間隔を空けましょう
出てくるかも･･･しれない

もしも、もしも、もしも、･･･のときは･･･まず、救護
そして･･･、警察に連絡

もしも･･･にならないように、
『わき見運転』、『漫然運転』はせずに、『運転に集中』しましょう

早朝 6 時　日の出前
トラックが進行方向左側の車道脇の
自転車と衝突

自転車の男性、頭部骨折などの重傷
救護せず走り去った疑い、トラック運転手を逮捕

2026/10/22(木) 8:49

20 日午前 5 時 55 分ごろ、岡山県の国道で仕事で中型トラックを運転中、進行方向左側の車道脇を走っていた会社員男性（54）の自転車と衝突。

男性に頭部の骨折などの重傷を負わせたにもかかわらず、救護や警察への通報をせずに現場を走り去ったとして、警察はトラック運転手の男（63）を過失運転致傷と救護義務違反、事故不申告の疑いで逮捕しました。

現場は片側 1 車線の直線道路で、日中の見通しは良いが、事故当時は日の出前だった。自転車の男性は衝突後、自力で帰宅し、家族が 119 番通報。

警察は男性から事情を聴くとともに、防犯カメラや容疑者の男が運転していたトラックのドライブレコーダーの映像などを確認し、容疑者を特定した。